

ムギ類赤かび病情報第1号

平成21年4月3日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除グループ

ムギ類の赤かび病は、出穂期から乳熟期にかけて気温が高く、降雨日数が多いと発生が多くなる傾向があります。多発すると収量や品質が低下するだけでなく、かび毒による汚染を生じるおそれがあります。

本年の平均気温は1月中旬までは平年並でしたが、1月下旬から3月中旬まではかなり高く推移しました。「麦作管理支援情報第4号」（平成21年4月3日、企画普及部広域指導グループ発表）によれば、イワイノダイチでは早めに播種したものが、現在出穂期を迎えており、農林61号でも出穂期は3～4日程度平年よりも早くなると予測されています。

感染予防のための防除適期は、穂ぞろい期から開花初期までで、出穂から3～4日後に当たります。早い時期に播種したイワイノダイチではすでに出穂期を迎えていますが、11月中下旬播種の農林61号の出穂期は4月16～17日頃になると予測されますので、適期に防除ができるよう、下表を参考にして防除の準備をしましょう。

なお、排水不良のほ場では、赤かび病の発生が助長されますので、排水溝の手入れなどを早急に実施しましょう。

表 ムギ類赤かび病の主な防除薬剤

作物名	薬剤名	使用時期	希釈倍数	本剤の使用回数
麦類	トリフミン水和剤	収穫14日前まで	1000～2000倍	3回以内
麦類	ワークアップ乳剤	収穫14日前まで	1000倍～1500倍	2回以内
麦類	石灰硫黄合剤	-	100倍	-
大麦	チルト乳剤25	収穫21日前まで	1000～2000倍	1回
大麦	シルバキュアフロアブル	収穫14日前まで	2000倍	2回以内
小麦	ベルコート水和剤	収穫21日前まで	1000～2000倍	3回以内(出穂期以降は1回以内)
小麦	ベフラン液剤25	収穫14日前まで	1000～2000倍	3回以内(出穂期以降は1回以内)
小麦	ストロビーフロアブル	収穫14日前まで	2000～3000倍	3回以内
小麦	トップジンM水和剤	収穫14日前まで	1000～1500倍	3回以内(出穂期以降は2回以内)
小麦	ワークアップS乳剤	収穫14日前まで	1000倍	2回以内
小麦	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2000倍	2回以内
小麦	トリフミン乳剤	収穫3日前まで	1000倍	3回以内
小麦	チルト乳剤25	収穫3日前まで	1000～2000倍	3回以内
(無人ヘリコプター用)				
大麦	チルト乳剤25	収穫21日前まで	8倍	1回
大麦	シルバキュアフロアブル	収穫14日前まで	16倍	2回以内
小麦	トップジンMゾル	収穫14日前まで	8倍	3回以内(出穂期以降は2回以内)
小麦	ワークアップS乳剤	収穫14日前まで	5～8倍	2回以内
小麦	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	16倍	2回以内
小麦	チルト乳剤25	収穫7日前まで	8倍	3回以内